



所沢市立北小学校 学校だより

令和5年3月1日

はなみずき

学校教育目標

「なぜだろう」

「これでよいのか」

「さあやるぞ」

ありがとう 6年生！

校長 関根 祐一

朝夕には冬の寒さがありますが、日中の日差しに温かさを感じる日が増えてきたように思います。校舎前の花壇ではパンジーの株が大きくなり始め、校地西側の学校ファーム・水車付近に行くとオオイヌノフグリが陽光に向かって可憐な青い花を咲かせています。早春の訪れを感じます。



さて、今月は卒業、修了の月。6年生は中学校への進学に、5年生から1年生は進級に向け、学習・生活両面のまとめに一生懸命取り組んでいます。

そして、先週には21日(火)赤組、22日(水)青組、24日(金)黄組と縦割り班ごと3日間に分けて「6年生を送る会」が開かれました。この6年生を送る会は、体育館の装飾や6年生の似顔絵、メッセージのプレゼントなどを1～5年生が分担して全校で会を演出しました。1～5年生・みどり学級みんなが、入れ替え形式で感謝とお祝いの気持ちを込めて6年生に演奏や歌、呼びかけメッセージをプレゼントし、最後に6年生が会場に残った5年生に演奏とメッセージを送って、学校のリーダーのバトンの引継ぎを行ってくれました。温かさに満ちた

とても素敵な会になりました。

私は、3日間のこの会を6年生の斜め後方から参観していたのですが、1～5年生・みどり学級みんなの真剣な眼差しに、6年生の優しさや日々の取組がしっかり学校全体に広がっていることを確かめることができました。そして、斜め後方からでも6年生のみんなが各演奏や歌、呼びかけを和やかな笑顔で見聞きしていることもよくわかりました。手拍子したり、体でリズムを刻んだりして演奏のプレゼントを受け止める姿や1年生の“ありがとうビーム”に大きくリアクションしたり、歌の“エイ、ヤー”の動作を一緒にしたりする姿に、6年生の嬉しさや感謝の思いも表出されて、自然に全体が温かな交流に包まれていく様子に大変感動しました。

思えば、6年生はこの一年間、北小学校のリーダーとして大いに活躍してくれました。再開できるようになってきた学校行事はもちろん、縦割り班での遊びや、毎日の通学班登校でもみんなに優しく接し丁寧にリードしてくれていました。支え合い、協力できる優しさと、けじめをもってしっかりと活動できる行動力は、北小学校をよりよい方向へと導いてくれました。

卒業というゴールまでの登校日は本日(1日)を含めてあと16日です。在校生からの感謝、祝福そして応援の気持ちを受け止め、一日一日を大切に過ごしてほしいと思っています。